

晴嵐幼稚園だより<地域版> おおきくなぁ〜れ

地域版NO.10

R7年2月

大津市立晴嵐幼稚園 園長 平尾かなめ

大津市鳥居川町15-22

☎・FAX 537-1578 Otsu2714@city.otsu.lg.jp

晴嵐幼稚園の
教育目標

3つの「あ」

あいさつのできる子ども

あきらめない子ども(考える子ども)

あいてのことも考えられる子ども

冬季オリンピックに思う…

寒さの中にも少しずつ春の気配を感じる今日この頃。園庭には梅の花が咲きほころんでいます。

さて、ミラノ・コルティナで冬季オリンピックが開幕し連日ニュースを賑わしています。ニュースを見ると選手へのインタビューで「幼い頃に見たオリンピックで憧れ、3歳からこの競技を始めた。」と答えておられました。3歳といえば幼稚園児と同じ年齢。こんなにも幼い時からの熱い思いが、今のこのキラキラと輝く未来につながっていったのだと思うと、幼児期の遊びや生活がいかに人生にとって大切なものや時期であるか思い知らされます。子どもにとっての世界は「家庭」と「園」が大部分を占めていますが、このようなオリンピックや万博など社会的なイベントはそこから一歩外へ踏み出すきっかけになります。また、いろいろな国があること、違う言葉話す人がいること等に気付き、国旗や地図、外国の文化に関心をもつきっかけにもなるでしょう。大人たちが盛り上がっている様子を見せることで何かいつもとは違う特別感やワクワク感を感じ取るのでしょうか。子どもの興味が広がる世界的なイベントを、周囲の大人も共に興味をもって話題にしたいものです。

★憧れがもつパワー★

すごいな、カッコいいなと思う憧れの気持ちは、先の記述にもあるように人生を大きく変えるほど強力なエネルギーが秘められているようです。脳や心にも科学的・心理的な作用を及ぼすことが分かっています。幼稚園でも「自分もあんな風になりたい」という憧れの気持ちが主体的な姿につながっている場面がたくさん見られます。



5歳児は、先日晴嵐小学校の5年生に学校案内をしてもらったり一緒にゲームをしたりして、楽しい時間を過ごしてきました。どんな質問にも優しく丁寧に答えてくれる5年生に安心感を覚え、憧れの気持ちを持ち、早速学校ごっこが始まっています。

そんな5歳児にあこがれているのが、4歳児と3歳児です。先日実施した生活発表会の練習風景を見ていた4歳児は、早速5歳児が着ていた衣装を見よう見まねで作り、同じように着て、やってみようとする姿がありました。



「学ぶ」の語源は「真似る」だと言われています。憧れのお兄ちゃんお姉ちゃんの真似をしながら「やらなければいけない」のではなく、「やりたい」と思いながら意欲的に楽しく挑戦しています。3歳児も未就園児が遊びに来ると、以前自分たちがしてもらったことをよく覚えていて、優しく声を掛けている姿があります。進級・進学に向けてさらに意欲が高まっている子どもたちの成長が益々楽しみになっています。